

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2024年5月15日

上場会社名 Recovery International株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9214 URL <https://www.recovery-group.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 旬也  
問合せ先責任者(役職名) 経営管理部部長 (氏名) 高橋 正人 (TEL) 03-5990-5882  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	441	17.4	40	△30.5	40	△30.9	26	△32.3
2023年12月期第1四半期	376	24.2	57	133.1	58	263.9	39	315.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	18.74	18.37
2023年12月期第1四半期	27.69	27.55

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	914	681	74.5
2023年12月期	901	654	72.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 681百万円 2023年12月期 654百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—				
2024年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,980	23.4	178	18.8	195	27.0	131	19.4	92.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	1,414,000株	2023年12月期	1,414,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	102株	2023年12月期	102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	1,413,898株	2023年12月期 1 Q	1,413,945株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社の決算補足説明資料は、決算発表後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、2024年5月24日(金)に個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様(動画)及び説明内容(書き起こし)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表関係)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、コロナ禍からの経済正常化の動きにより、景気は緩やかな持ち直しが見られるものの、円安の進行や消費者物価の上昇などもあり、先行き不透明な状況が続いております。一方で、当社が属する訪問看護業界においては、団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」を見据えて、高齢者の病気や障害があっても安心できる高度な医療・介護へのニーズ、また住み慣れた地域で暮らしたいという在宅医療へのニーズに応えることができる体制を構築することが急務となっております。

このような状況のもと、当社は「もう一人のあたたかい家族として在宅生活の安心を届け地域社会へ貢献します」という企業理念のもと、利用者様に寄り添った訪問看護をより多くの方に享受いただけるよう、人材確保と新規拠点開設に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間においては、収益性の向上、人材確保に注力するとともに、新規拠点の開設準備をいたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高441,996千円（前年同期比17.4%増）となりました。営業利益は40,000千円（前年同期比30.5%減）、経常利益は40,115千円（前年同期比30.9%減）となり、四半期純利益は26,500千円（前年同期比32.3%減）となりました。

なお、当社は訪問看護サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は862,162千円（前事業年度末残高856,879千円）となり、前事業年度末に比べ5,283千円増加いたしました。これは主に、売掛金が9,696千円増加した一方で、前払費用が2,681千円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は52,268千円（前事業年度末残高44,505千円）となり、前事業年度末に比べ7,762千円増加いたしました。これは主に、新規拠点開設に伴い差入保証金が2,338千円増加したこと、繰延税金資産が4,592千円増加したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は202,304千円（前事業年度末残高220,023千円）となり、前事業年度末に比べ17,719千円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が18,978千円増加した一方で、未払費用が14,258千円、未払法人税等が10,231千円、1年内返済予定の長期借入金が5,499千円、預り金が4,472千円減少したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は30,887千円（前事業年度末残高26,623千円）となり、前事業年度末に比べ4,264千円増加いたしました。これは主に、退職給付引当金が4,034千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は681,238千円（前事業年度末残高654,738千円）となり、前事業年度末に比べ26,500千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の業績予想につきましては、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表の業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	524,103	524,524
売掛金	310,558	320,255
前払費用	17,686	15,005
その他	4,897	2,756
貸倒引当金	△367	△378
流動資産合計	856,879	862,162
固定資産		
有形固定資産	4,777	4,870
無形固定資産	1,029	986
投資その他の資産	38,699	46,411
固定資産合計	44,505	52,268
資産合計	901,385	914,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	17,350	11,851
未払金	26,724	24,739
未払費用	106,596	92,338
未払法人税等	32,166	21,935
未払消費税等	588	337
預り金	35,997	31,524
賞与引当金	—	18,978
その他	601	601
流動負債合計	220,023	202,304
固定負債		
退職給付引当金	22,709	26,744
資産除去債務	3,913	4,143
固定負債合計	26,623	30,887
負債合計	246,646	233,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	203,544	203,544
資本剰余金	189,544	189,544
利益剰余金	261,880	288,380
自己株式	△229	△229
株主資本合計	654,738	681,238
純資産合計	654,738	681,238
負債純資産合計	901,385	914,431

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	376,546	441,996
売上原価	219,332	256,827
売上総利益	157,213	185,169
販売費及び一般管理費	99,693	145,168
営業利益	57,520	40,000
営業外収益		
助成金収入	563	350
その他	87	59
営業外収益合計	650	409
営業外費用		
支払利息	116	38
支払補償費	—	204
その他	0	51
営業外費用合計	117	294
経常利益	58,053	40,115
税引前四半期純利益	58,053	40,115
法人税、住民税及び事業税	21,810	18,208
法人税等調整額	△2,905	△4,592
法人税等合計	18,904	13,615
四半期純利益	39,148	26,500

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

重要な訴訟事件

当社は、食物誤嚥による窒息で死亡した元利用者の遺族から2019年4月に、損害賠償金及び慰謝料の合計110百万円超の支払いを求めた訴訟を提起されておりましたが、2022年10月17日、東京地方裁判所は判決を言い渡し、原告の請求は棄却されました。

本判決に対し、元利用者の遺族は2022年10月21日に、東京高等裁判所へ控訴を提起しておりましたが、2023年9月14日、東京高等裁判所は判決を言い渡し、控訴人の請求は棄却されました。

なお、本第2審の判決を不服として、元利用者の遺族より最高裁判所に対し、一部の損害に限定して57百万円超の上告提起及び上告受理の申立がなされ、現在、最高裁判所の判断待ちの状況であります。

本案件について検討した結果、現時点で将来発生した場合の債務の金額を合理的に見積もることができないため、当該偶発債務に係る損失について引当金は計上しておりません。